

画像：NASA 国際宇宙ステーション(ISS)から見た流星

2016年7月中旬~8月下旬

ざ デルタ

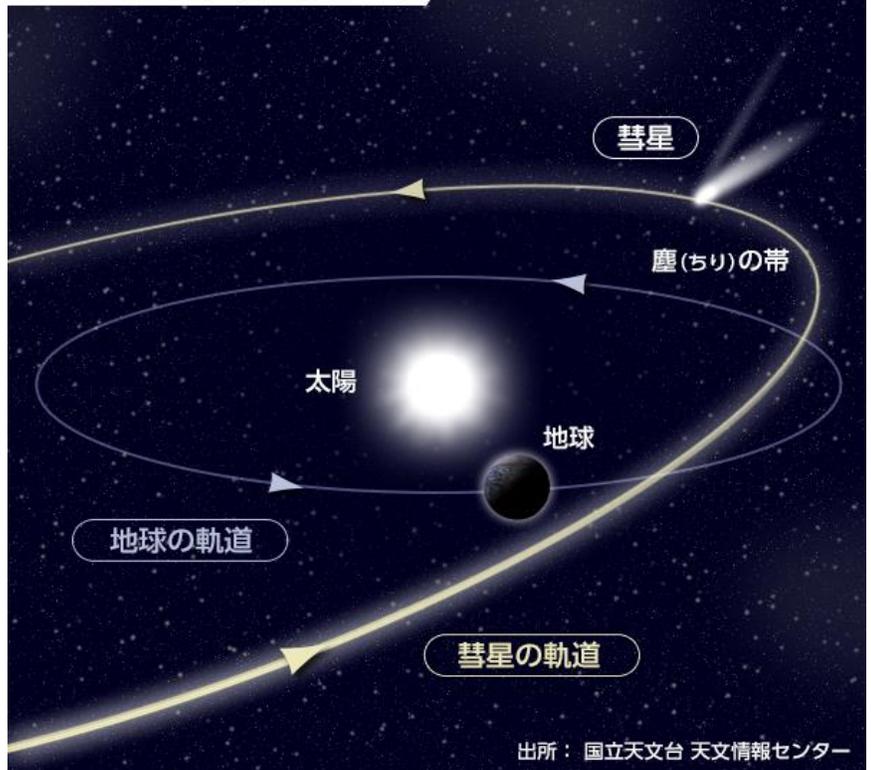
みずがめ座δ南

りゅうせいぐん

流星群をみよう

発行：福岡県青少年科学館

流星群の出現と彗星・地球の軌道



出所：国立天文台 天文情報センター

7月下旬から8月下旬はいくつもの流星群の活動(やぎ座 α 流星群など)が重なり、一年のうちで最も多く流れ星が見られるシーズンです。

7月28日は、みずがめ座 δ 南流星群が極大を迎えます。1時間に10個程度の流星が予想されます。夜半(午前0時前後)以降に月が昇るため、夜半前は比較的好条件となるでしょう。放射点は南東の方角です。しかし、どの方向にも飛ぶので、なるべく空全体を見渡しましょう。



画像：久留米市 7/28 0:00 am ステラナビゲーターVer.10 で作成

『彗星と流星』の関係 流星は、彗星や小惑星の通り道を毎年同じ時期に地球が通過し、そこに残されていたちりが地球の大気にとびこんで、上空100km前後で発光して見えます。このみずがめ座 δ 南流星群は、マックホルツ彗星によるものと言われています。